

令和5年9月15日

保護者の皆様へ

藤井寺市立第三中学校  
校長 奥 雅 美

## 令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

仲秋の候、保護者の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また平素は、本校教育活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本年4月18日(火)に3年生で実施されました「全国学力・学習状況調査」の結果概要についてお知らせします。

### 1. 学力面について

#### ① 国語について

国語の平均正答率は、大阪府平均・全国平均を下回っています。正答率が大阪府や全国より上回っている問題は選択式問題で、無解答率は0%でした。学習の定着だけでなく、出題者の意図を理解できなかったり、書くことを諦めてしまったりしている傾向があるようです。また、「読むこと」についての正答率は比較的高く、読み取りは、一定の力がついていると考えられます。一方で、記述式問題の正答率は低く、特に「自分で考えて、まとめ、表現する」ことへの苦手意識が強く見られます。本校の生徒は、他者との交流を通じての学習への興味を示すことが多いのですが、コロナ禍で、グループ活動が十分には行えなかったことも、この結果に起因したと考えられます。これからの授業では、特に「話すこと・聞くこと」「書くこと」の力を養うことを意識していきます。具体的に、「話すこと・聞くこと」では、班活動等で意見交流を行い自分の意見をしっかり伝えるだけでなく、相手の意見をしっかり聞いたうえで自身の考えを深められるような活動に、「書くこと」では漢字などの基礎的な知識・技能を定期的に小テスト等で確認していくことはもちろん、記述についてもただ書くだけで終わらず、班活動での交流を活かして、文章力をさらに磨いていけるような展開にしていきたいと考えています。

「生徒質問紙」では、「国語の勉強が好きですか」という質問に対し、「当てはまる」「どちらかという、当てはまる」の肯定的意見が65.1%、(大阪府59.4%・全国61.4%)という結果でした。また、「国語の授業は大切だと思うか」の質問に対しては肯定的意見が90.2%と学習の将来での必要性について考えていることがわかります。この意識を大切に、まずは苦手意識を減らすためにも基礎学習を繰り返し行いながら抵抗感を減らし、意欲的に取り組めるようにしてまいります。

#### ② 数学について

数学の平均正答率は、大阪府平均・全国平均を下回っています。数学的な用語の理解をはじめ、問題文の理解ができていないことが考えられます。また、分数の扱いに苦手を感じる生徒が多いため、想定外の解答や無解答が多くなっています。まずは基礎計算力をつける必要があります。今後の取り組みとして、基本的な技能の習得が必須である。過去に学習した内容の定着をさせるために復習、特にくり返しの復習に効果があることは昨年度の段階からわかっているが、より一層、それぞれの学年で授業毎に復習タイムを取り入れていき、その上で、新しい用語や知識等については、丁寧に反復練習で定着度を高めていきたいと考えています。

生徒質問紙より「数学の勉強は好きですか」は肯定的な回答が43.4%と低く、R4年度の48.4%よりも下がっています。また、「数学の勉強は大切だと思いますか」73.7%(大阪府83.2%・全国85.0%)と、「大切だ」という認識が薄い。「数学の授業の内容はよく分かりますか」56.6%と授業理解度が低いことから、授業では、より丁寧かつ興味を持たせる工夫を交え、基本的な技能の定着によって、自ら進んで取り組めるまでの基礎力をつけていきます。

#### ③ 英語について

英語の平均正答率は、大阪府平均・全国平均を下回っています。問題形式別でみると、選択式の問題には意欲的に取り組もうとしたことがわかります。しかし、知識・技能を問う短答式の問題で無解答率

が高く、記述式の問題に関しては正答率が他の問題と比べてさらに低くなっています。これらのことから知識の定着が不十分であり、問題を解こうとせずに諦めてしまう傾向があるということが分かります。また、英語を用いて、意見や理由についてまとめたり、自分の考えを整理した後に書いたりすることに慣れていないことが考えられます。「聞くこと・選択式」について正答率は正答率が高く、忘れ物について問い合わせをするために必要な情報を聞き取るという目的がはっきりしていたため、正答することができました。さらに「読むこと・選択式」にもやや課題がみられます。イディオムなどの小テストなどにも取り組んできたことで、知識として定着している生徒が多いのですが、各段落でどのようなことが書かれているのかを理解し、文章を論理的に読むことに慣れていなかったこと、言葉を文の中でどのように使うのかが分からなかったようです。そこで、今後の取り組みとして、授業で扱う単語やイディオムについて、日本語から英語の意味を覚えるだけでなく、文脈の中でどのように使われるか等に重点を置きながら指導を続けることで知識・技能の定着を図っていきたいと考えています。また、ICT教材や小テスト等を通じて何度も繰り返し学習ができる機会を設けていきます。

生徒質問紙で「1,2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか」82.9%（大阪府 78.5%・全国 80.7%）の肯定的回答が高かったことは、1,2年生から長文等の読む力を高めていくために、一文一文ではなく、全体の概要を掴む活動、読んだ上で自分の意見を英語で表現し、学習したことを使って自分の意見を表現するなどの言語活動や、授業の中で、個人・ペア・グループで課題に取り組む機会を設け、生徒たちの主体的な取り組みを行ってきた成果であり、これからも継続していきます。また、「英語の勉強は好きですか」32.9%と低い一方で、「英語の勉強は大切だと思いますか」79.6%と多くの生徒が必要を感じています。授業の中で、生徒が達成感を感じられる機会を設け、「学び合い」の機会を多く作り、生徒たちが「やってみたい」と思えるような仕掛けを取り入れていきたいと考えています。

## 2. 生活面や学習状況について（生徒質問紙から）【数値は%】

### ①家庭生活に関わる項目

質問事項	本校	昨年比	大阪府	全国
朝食を毎日食べていますか	87.5	-3.8	88.7	91.2
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	71.7	-3.8	77.2	78.0
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	94.8	+4.4	90.4	91.3

☆起床時刻は安定しているようで、素晴らしいと思います。また、朝食については学力との相関関係が指摘されています。規則正しい生活リズム（早寝・早起き・朝ごはん）を作り、1日のスタートとして、朝食を摂るという習慣はとても大切です。忙しい朝ですが、基本的な生活習慣の確立に向けて家庭でも意識していただき、ご協力をお願いします。

### ②家庭学習に関わる項目

質問事項	本校	昨年比	大阪府	全国
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	46.8	+1.9	50.7	55.0
学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）1日どれくらいの時間、勉強をしますか	1時間以上 65.2 全くしない11.8	1時間以上 +8.1 全くしない-3.0	1時間以上 65.8 全くしない9.8	1時間以上 65.8 全くしない6.0
学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか	10分以上 40.2 全くしない51.3	10分以上 +2.5 全くしない-2.3	10分以上 40.9 全くしない45.3	10分以上 49.4 全くしない36.8

☆家庭での学習習慣・読書の習慣に改善が見られます。また火、金曜日に開催している「放課後ゆめ教室」や「自習教室（インフィニティ）」の個別学習への参加によって、校内で学習して帰宅するリズムが家庭学習の習慣の定着に影響しているかと思われます。毎日少しの時間でも家庭で机に向かうことはとても大切です。今後も自分で計画を立て、その日の授業内容を教科書やノートを開いて確認することや、次の

授業で学習する内容を読んでおいて欲しいと思います。

- ☆ 読書をする生徒が昨年より少し増加しました。学習において、まず問題文章を読み取ることが本校の課題でもあります。文章を読解する力は国語だけでなくすべての教科に必要です。時間があれば、読書をする習慣をつけましょう。本校では授業で学校図書館の活用や、学校図書館司書が毎月発行する「図書だより」の中で「先生のおすすめコーナー」を設け、先生からおすすめの本を生徒に紹介しています。また、休み時間や放課後も学校図書館の開放を行っています。

### ③学校生活・自分に関わる項目

質問事項	本校	昨年比	大阪府	全国
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	86.2	-7.7	94.8	95.5
学校に行くのは楽しいと思いますか	77.0	+4.0	79.7	81.8
自分にはよいところがあると思いますか	63.3	+5.1	77.7	80.0
将来の夢や目標を持っていますか	67.1	+0.7	64.1	66.3

- ☆ 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」が低くなりました。この結果を真摯に受け止め、全ての教育活動を通して自他共に一人ひとりを大切に、人権を守る意識を育む教育活動を継続していきたいと考えています。
- ☆ 昨年度から続けている「ポジティブ行動支援」の取り組み＝「Good Job カード」の効果が出てきているようです。「Good Job カード」でありがとうメッセージをカードにしてもらい、自分が役に立っていることを意識する機会を大切にしたいと思います。
- ☆ 生徒たちは1学期、生徒会主催の「三中カーニバル」にも積極的に参加しました。全校でクラス対抗のKahoot大会（選択式早押しクイズ大会）で、たいへん盛り上がりました。また、各学年とも宿泊学習、校外学習、修学旅行などを通して様々な経験を積み重ね、自信をつけていってくれていると感じています。

### ④授業に関わる項目

質問事項	本校	昨年比	大阪府	全国
1,2年生の時に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	67.7	+0.4	64.4	62.1
1,2年生の時に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	73.0	-0.5	77.0	79.2
学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	67.1	+0.3	76.8	79.7
1,2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか(週1回以上)	92.8	-2.6	80.3	87.5
学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	87.5	+4.3	91.2	93.3
学習した内容について、分かったことや、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	55.9		67.9	69.2
授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか	62.5		68.5	69.9

- ☆ 本校では「学び合い」を柱にして、自分の考えを発表、交流し、「話し合う活動」を学校全体で取り組んでいます。これら日頃の成果が出てきている。これを自分で「主体的に」考えるという部分につなげていくために、基礎学力と学習への主体的な意欲を持たせていきたいと考えています。今後、「学習した内容について、分かったことや、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」「授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか」という項目が改善するように放課後学習時間の有

意義な提案を続けていきたい。

- ☆ ICT機器を用いた授業は日常になっており、「勉強に役に立っている」実感も少しずつ伸びてきています。これからも自分の考えや調べ学習を発表するツールとして普段遣いができるよう指導していきます。
- ☆ 進路や将来のことを語り合う等、子どもたちが夢や希望を持てる雰囲気を作り、話し合う機会を作っただけであればと思います。そして、少しでもお気づきの事、困っている事があれば遠慮なく学校にご相談ください。

### 3.最後に

全国学力・学習状況調査は毎回中学3年生を対象とし、同じ子どもたちの経年変化を現すものではないため、単純に前回の結果との比較はできません。ただし、その結果は、本校の取り組みを検証し、取り組み等の改善を図る一つの目安となると考えています。

本校の学力調査の結果では平均正答率は全国・府に比べて低いですが、夢や目標を持っている生徒の割合は全国平均よりも高く、ICTの活用、学習習慣、読書習慣など学力向上に向けた取り組みの成果が現れている部分もあります。このような生徒の夢を実現するために、課題解決に向けて、考えをまとめ書くこと、話し合い活動、発表する場を積極的に取り入れたり、学校生活の中で主に意欲・意志・情動といった社会性に関わる力を伸ばしていけるような体験を取り入れたりしながら、まずは学習習慣を定着させ、基礎学力の定着に力を入れていきたいと思います。そしてさらに「学び合い」を通して「主体的・対話的で深い学び」へとつなげる取り組みを進めていきたいと思います。

また、子どもたちの学力向上や健やかな成長には、基本的な生活習慣の確立は欠かせません。学校と家庭が連携を図り、子どもたちと向き合い、「わかりやすく伝える・子どもの思いを聞く(子どもが話せる環境づくり)」ことが何よりも大切です。様々な経験を通して自分に自信を持ち、生活を楽しむことができるように、学校・家庭・地域が手を携え取り組んでいきたいと思います。今後とも、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。